

人と自然が輝くまち

広
報

たてしな

2017.2
[平成29年]

No.516

里山白く
春想う

Index

- 特集 立科町・愛川町 友好都市30周年 …… P2・3
- コンビニ交付開始式を行いました! …… P4
- 町県民税及び所得税の申告相談の日程 …… P6
- 立科町小中学校コミュニティスクールが始まります …… P17
- 町臨時職員の登録者を募集します …… P19
- こども未来館情報 …… P22



立科町マスコットキャラクター
「しいなちゃん」

風の子広場から望む浅間山



観光

「あいちゃん」は三増合戦にちなみ、武士の姿で町の鳥「かわせみ」のかぶとをかぶったキャラクターです。町内外のイベントなどで町をPRしています。



県立あいかわ公園

宮ヶ瀬ダム直下に広がる公園です。春には約4万4千本のツツジが咲き誇る「花の斜面」や、アスレチック「冒険の森」、眺望抜群の「風の丘」など、1日中遊べるスポットです。



宮ヶ瀬ダム

「NIKKEIプラス1」の観光ダムランキングで全国1位になりました。4月～11月には大迫力の観光放流が行われています。



愛川町観光キャラクター「あいちゃん」

ごあいさつ
立科町の皆さまへ

昭和62年2月5日に、長野県立科町との友好都市提携を締結してから、おかげさまで30年を迎えることができました。友好発展にご尽力を賜りました立科町の皆さまをはじめ、関係各位に改めて心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

提携以来、両町の間でさまざまな交流事業を実施させていただいております。毎年夏には、本町の中学生が「青少年県外交流事業」として立科町を訪問させていただきました。地元中学生とともに「立科えんどこ」に参加して親睦を深めているほか、昨年度からは町民を対象に「友好都市立科町交流バスツアー」を実施し、りんご狩りや御泉水自然園、芦田宿での散策など、立科町の雄大な自然と素晴らしい景観を満喫させていただいております。

秋に開催する「愛川町ふるさとまつり」では、立科町から届いたおいしいりんごの即売会を行っています。毎年長蛇の列ができるほど大変な人気で、町民が楽しみにしているイベントの一つとなっています。また、文化会館ホールで披露される「御泉水太鼓」は、勇壮で迫



愛川町長
小野澤 豊

力ある音色が会場に響き渡り、圧巻のパフォーマンスで私たちを魅了しています。新春の愛川路を駆け抜ける、恒例の「愛川町一周駅伝競走大会」にも毎年参加をしていただき、力走する立科町チームには沿道から熱い声援が送られるなど、大いに大会を盛り上げていただいております。

さらには、地震や風水害などの大規模災害が発生した場合に備え、「災害時における相互援助に関する協定」により、両町が相互に協力する体制を整えるなど、さまざまな分野での交流を通じて、揺るぎない信頼関係で結ばれていることを確信しているところであります。

今後もこれまで両町が築き上げてきた友好の絆を礎に、積極的な交流活動を推し進め、相互の友好と親善を深めながら、心豊かで活力のあるまちづくりにつなげてまいりたいと考えております。

結びに、これからの立科町のさらなるご発展と、町民皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、今後愛川町への変わらぬご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

愛川町のご紹介

愛川町は、人口約4万1千人、神奈川県中央北部、首都圏50km圏内に位置する町です。東西約10km、南北約6・7kmの中央部がくびれたひょうたん型をしており、総面積は34・28kmです。町の西部には丹沢山塊の仏果山を最高峰とする山々が連なり、南東部は中津川と相模川に挟まれた台地が広がっています。昭和30年に当時の愛川町と高峰村が合併。翌昭和31年には中津村を編入し、現在の愛川町となりました。

中津川の清流に恵まれ、江戸時代から地場産業として繊維産業が発達し、「糸の町」として広くその名を知られていました。昭和41年には、神奈川県内陸工業団地が完成。約140社の企業が集まるこの工業団地は製造業や流通業が多く立地し、日本のものづくりを支えています。

平成12年に完成した宮ヶ瀬ダムは、中津川上流部に位置し、首都圏最大級のダムとして水道水や電力の供給、洪水対策など重要な役割を果たしています。ダム周辺には風光明媚な県立あいかわ公園が広がり、公園内にはウォーターミュージアム「水とエネルギー館」、町の伝統工芸を体験できる「工芸工房村」、町の自然・文化を紹介する「愛川町郷土資料館」などの施設のほか、大自然の中で遊べるアスレチックや展望広場など、見どころが盛りだくさんの観光拠点となっています。

平成25年に圏央道「相模原愛川インターチェンジ」が、26年に同「相模原インターチェンジ」が開通したことにより交通アクセスが飛躍的に向上し、商工業、観光などの各分野で着実に発展を続けている「都心にいちばん近い愛のまち」愛川町へ、ぜひお越しください。

歴史・文化



三増合戦

戦国時代の1569年に、甲斐の武田信玄軍と小田原の北条氏康軍が、現在の愛川町三増の地で合戦を繰り広げました。毎年秋には、戦国絵巻を今に伝える「三増合戦まつり」が開催されています。

(写真提供：神奈川県内陸工業団地組合)



産業

神奈川県内陸工業団地

工業団地全体でゼロエミッション（廃棄物ゼロ）化の推進やCO₂の削減に取り組むなど、無公害型の工業団地として高い評価を得ています。

愛川町の豊かな自然と文化に育まれた素材と、優れた技術・技法から生み出された町産品の中から28品を、「愛川ブランド」として認定しています。工芸品や農産物、お菓子など、お土産や贈り物に幅広いラインアップの中から選べます。

若者たちの音楽祭

町に縁のあるバンドによる、軽音楽の祭典です。若者に限らず、音楽好きの町民などが大勢出演し、盛り上げられます。



古民家山十郎

1883年に建てられた豪農の屋敷です。平成28年6月には、若い世代の誘致活動の一環として、コスプレイベントを開催しました。

青少年県外交流事業

毎年8月に愛川町の中学生が立科町を訪問し、立科町の中学生と交流を深めるため、「立科えんでこ」への参加や体験学習、グループ活動などを行っています。



友好都市交流

愛川町一周駅伝競走大会

立科町選抜チームも毎年出場し、優秀な成績を収めています。



愛川町ふるさとまつり

御泉水太鼓の迫力ある演奏で、毎年観客を魅了しています。また立科町特産りんごの即売はとも人気があり、販売開始前から長い行列ができています。



愛川ブランド認定品



愛川町の魅力を満載したホームページ「きてみて愛川町」で、観光情報や特産品情報など、町のPR情報を紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/kitemite/>



きてみて
愛川町

コンビニ交付開始式を行いました！



平成29年1月10日(火)
 佐久市、小諸市、御代田町、立科町
 合同で証明書コンビニ交付サービス
 開始のセレモニーを行いました。

佐久市 小諸市 御代田町 立科町
**マイナンバーカードで
 証明書のコンビニ交付
 が受けられます！**
 平成29年1月10日より

サービスが利用できる店舗

全国のセブンイレブン、
 ローソン、ファミリーマートの
 店舗等

※マルチコピー機が設置されている
 店舗のみ

取得できる証明書

- 住民票の写し 1通300円
- 印鑑登録証明書 1通300円
- 戸籍謄本・抄本 1通450円
- 戸籍の附票の写し 1通300円

ご利用可能時間

午前6時30分～午後11時
 (12月29日～1月3日、
 システム休止日を除く)

💡 ご利用にあたっては、個人番号
 カードが必要となります。

**コンビニ交付
 安心のポイント**

- ・店舗内のマルチコピー機をご自身で操作するので安心です。
- ・証明書取得後のデータは一切残りません。

詳しくは **コンビニ交付** 検索 🔍

または、右記のQRコードよりサイトにアクセス
 してください。 <https://www.lg-waps.jp>



コンビニ交付及び
 個人番号カードに関する
 お問合せ先は

立科町役場 町民課 住民係 (平日 午前8時30分～午後5時15分)
 電話 0267-56-2311 Mail t-zyuumin@town.tateshina.nagano.jp



コンビニ交付は、地方公共団体情報システム機構が運営しているサービスです。

コンビニで証明書を取得するためにはマイナンバーカードが必要です。
 お持ちでない人は**今すぐマイナンバーカードの申請を！**
 初回の申請は無料です！(カードの申請から受取りまで、およそ4～
 5週間かかります)



10年後に安心して生活できる町をつくるために

12月14日(水)に「第1回地域支援づくり推進会議」を開催しました。

これまで、平成28年2月から4回、町民を交えて、地域支援づくり懇話会を開催し、「目標とする町」「目標とする町にするために重要性が高く、すぐできそうなこと」等について、話し合ってきました。

「地域支援づくり推進会議」では、懇話会で出していただいた意見や知恵をもとに、多様な人達による多様な支援体制の充実、強化を図ることを目的として、情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進していく予定です。会議の委員には、町民から自薦、他薦された15名が委嘱をされました。

今回の会議では、長野県生活支援コーディネーター養成講師の浦野千絵さんに「住み慣れた地域で暮らし続ける為の身近な支え合いを考えてみましょう」という題で、国の動向や制度のこと、地域づくりは地域の実情に合わせて丁寧に検討をしていくことが必要などというお話をさせていただきました。

さらに、まずは、地域を知ることからということで、立科町の人口の推移や高齢者に行った高齢者実態把握調査の結果について町から報告をさせていただきました。



委員の皆様からは、「サロンとはどのようなものか?」「町がなくなるとは困る。」「まずは自分の部落のことから考えたい。」「立科町に移住やUターンしたい人はいるが、住む場所がない。」「簡単なことやできることから始めてみてはどうか。」等、様々な提案や意見が飛び交いました。

今後も定期的に、会議を開催し、情報を共有し、こうなりたい地域の姿やなりたい姿になるためにどのようにしていったらよいか検討を進めていきます。

ご注意ください

山林内で有害鳥獣捕獲を実施します (3月末まで)

農林係

毎年、11月15日から2月15日までは狩猟期間として、狩猟鳥獣の捕獲を実施しています。

町では、狩猟期間外(2月16日から3月31日)に有害鳥獣(ニホンジカ、イノシシ等)捕獲を「銃器」及び「わな」により捕獲を実施します。

この期間内は危険ですので、万が一、山林へ入られる場合は目立つ服装で入山をお願いします。



平成29年度町県民税及び 平成28年分所得税の申告相談の日程について

役場で申告相談をされる方は、下表の日程でご来庁いただき、対象日に都合がつかないときは、なるべく早期にお越しください。また、本年も2月26日と3月12日の2回、日曜日の相談日を設けました。例年、日曜日の相談日及び申告期間の後半になりますと大変混雑し、待ち時間が長くなりますのでご承知おきください。

なお、平成28年分より所得税の申告用紙に、マイナンバーを記載する項目が増えたとともに、本人確認書類の写しの添付が必要となりましたので、源泉徴収票と一緒にマイナンバー（個人番号）カード（番号確認と身元確認）、または通知カード（番号確認）＋運転免許証、健康保険の被保険者証など（身元確認）（ご家族の申告もされる方は申告をされる方全員の番号確認と身元確認ができる書類）を忘れずにお持ちください。

月 日	対象地区	月 日	対象地区
2月16日(木)	上房、山部、滝神	3月2日(木)	茂田井（西町、田町）
17日(金)	真蒲、平林	3日(金)	牛鹿、柳沢、五輪久保、虎御前
20日(月)	日向、大城	6日(月)	外倉
21日(火)	和子、赤沢、中原	7日(火)	塩沢
22日(水)	野方	8日(水)	西塩沢
23日(木)	古町、姥ヶ懐、中尾・美上下	9日(木)	桐原
24日(金)	町	10日(金)	細谷
26日(日)	平日の来庁が困難な方（全地区）	12日(日)	平日の来庁が困難な方（全地区）
27日(月)	大深山、立石、石川	13日(月)	藤沢、蟹原
28日(火)	蟹窪、日中	14日(火)	蓼科
3月1日(水)	茂田井（仲町、東町）	15日(水)	申告書の受領のみ

会 場 ■ 役場 3階 大会議室

相談時間 ■ 午前は9時から、午後は1時30分から

受付時間 ■ 当日午前7時から午後4時まで ※時間厳守

（土曜日・相談日以外の日曜日は閉庁日です）

当日の受付用紙に、目安とする相談開始時間が書いてありますので、空いている時間の欄に名前を記入し、時間までにお越しください。（希望する時間に空きがない場合もありますが、ご了承ください。）

※ 電話での受付はできません。

受付場所 ■ 午前8時20分までは役場正面玄関で行い、それ以降は大会議室で行います。

体の不自由な方は住民係にお声かけください。

※ 所得税以外の国税（消費税・贈与税・相続税等）の申告については、佐久税務署へご相談ください。

申告相談の詳しい内容については、配付しました「平成29年度町県民税及び平成28年分所得税の申告について」をご覧ください。

税務署・役場からのお知らせ

平成25年から平成49年までの各年分の申告については、所得税と併せて復興特別所得税の申告及び納付をすることになっています。

復興特別所得税の額は、各年分の基準所得税額（原則として、その年分の所得税額）に2.1%の税率を掛けて計算した金額です。確定申告書への復興特別所得税額の記載漏れにご注意ください。

また、町県民税は平成26年度から平成35年度までの10年間、均等割が4,500円から5,500円に引き上げられています。

所得税・消費税・贈与税の申告は、e-Tax (国税電子申告・納税システム)をご利用ください

国税庁ホームページからe-Tax

所得税・消費税・贈与税の申告書は、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」を利用して、e-Tax（国税電子申告・納税システム）へ送信できます。

所得税の確定申告期間中は、24時間いつでもe-Taxが利用可能です。（ただし、メンテナンス時間を除きます。）

e-Taxをご利用いただくメリット

自宅からネットで申告 税務署に行かなくとも、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」で申告書を作成し、自宅からネットで提出（送信）できます。

添付書類の提出省略 確定申告をe-Taxで行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票等は、その記載内容（病院などの名称・支払金額等）を入力して送信することにより、これらの書類の提出又は提示を省略することができます。（法定申告期限から5年間、税務署から書類の提出又は提示を求められることがあります。）

還付がスピーディー e-Taxで申告された還付申告は、3週間程度で処理しています。（自宅や税理士事務所からe-Taxで1月・2月に申告した場合は、2～3週間程度で処理しています。）

24時間いつでも利用可能 所得税の確定申告期間中は、24時間いつでも利用可能です。（ただし、メンテナンス時間を除きます。）

e-Taxを
ご利用
いただく前に



電子証明書の取得

申告等データを送信する際には、電子署名を行っていただく必要がありますので、事前に電子証明書を取得してください。

※e-Taxで利用する「公的個人認証サービスに基づく電子証明書」はマイナンバー（個人番号）カードに格納しています。

※個人番号カードの交付開始以前に発行の住民基本台帳カードに格納された電子証明書は、その有効期間内であれば継続して使用できます。

（注）「マイナンバー（個人番号）カード」の交付を受けた場合は、マイナンバーカードをご利用ください。

※税理士が税務書類（データ）を作成し、納税者に代わって送信する場合、納税者本人の電子証明書を取得する必要がありません。

※e-Taxで利用可能な電子証明書については、e-Taxホームページでご確認ください。

ICカードリーダーライタの用意

利用する電子証明書がICカードに格納されている場合には、別途ICカードリーダーライタが必要です。（家電販売店等でお買い求めください。）

詳しい情報は

e-Taxホームページでは、利用開始の手続、利用可能時間、パソコンの推奨環境、e-Taxソフトの操作方法、よくある質問（Q&A）など、e-Taxに関する最新の情報についてお知らせしています。

● e-Taxに関する情報はe-Taxホームページへ www.e-tax.nta.go.jp

● e-Taxの操作に関するお問合せはe-Tax・作成コーナーヘルプデスクへ 電話番号 0570-01-5901 ^{e-コフセイ}

● 税に関する情報は国税庁ホームページへ www.nta.go.jp

立科町議会定例会

平成28年 第4回立科町議会定例会が12月2日から13日までの会期で開催されました。

一般質問では9名の議員より、町政運営についての質問や提案など、活発な質疑応答が行われました。

本定例会では、一部事務組合規約の変更1件、定住自立圏に関する協定の一部変更2件、条例案件3件、平成28年度各会計の補正予算など町長から提出された16件の案件が慎重審議され、原案どおり可決されました。



可決された主な議案

○川西保健衛生施設組合規約の変更

平成29年4月より、東御市旧東部町区域のし尿及び浄化槽汚泥を受入れるための一部改正。

○佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定
定住自立圏の取組みに、ICT教育の推進、六次産業化による農業振興、道路等交通インフラの整備を新たに加える変更です。

○上田地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定
定住自立圏の取組みに、結婚支援体制の連携強化、産業振興分野、移住・定住促進等を新たに加える変更です。

○立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
個人番号カードを利用して、コンビニエンスストアの多機能端末機による印鑑登録証明書の交付を可能にするための改正。
○平成28年度立科町一般会計補正予算(第6号) 他補正予算3件

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
人事院勧告及び長野県人事委員会勧告による一般職の給与等の改定。

○一般職の職員の給与に関する条例等の改正に伴う、平成28年度立科町一般会計補正予算(第7号)。他補正予算4件

○立科町長等の給料の減額に関する条例制定
固定資産税課税誤りの監督責任を重く受止め、町長及び副町長の平成29年1～3月の給料を10%減額するものです。

一般会計補正予算(第6号)の概要は、次のとおりです。

予算

補正予算額 △8,661万8千円 予算総額は、46億9,018万6千円

補正された主な内容

歳入

- 理科教育設備整備費等補助金(小中学校)
..... 37万4千円
- 未熟児養育医療給付費負担金
..... 75万円
- 機構集積協力金交付事業補助金
..... 161万3千円
- 中山間地域所得向上支援対策補助金
..... 310万円
- 担い手確保・経営強化支援事業補助金
..... 320万円
- 産地パワーアップ事業補助金
..... 517万3千円
- ふるさと寄附金..... △7,390万円

歳出

- 小学校天体望遠鏡・生物顕微鏡購入..... 19万4千円
- 中学校双眼実体顕微鏡等購入..... 56万1千円
- 高齢者共同住宅あんしん水道配管工事等..... 71万5千円
- 未熟児養育医療給付..... 100万円
- 機構集積協力金交付事業..... 161万3千円
- 移住定住促進事業新築住宅補助金..... 200万円
- 中山間地域所得向上支援侵入防止柵支給..... 310万円
- 電話交換機設備更新工事..... 470万5千円
- 担い手確保・経営強化支援事業等..... 837万3千円
- 立科町ふるさと基金積立金..... 890万円
- 町有地内地上物解体撤去アスベスト除去工事... 1,179万7千円
- 社会資本整備総合交付金道路整備事業..... △3,440万円
- ふるさと寄附金事業..... △7,122万円

消防出初式

1月11日(水)、権現山運動公園屋内運動場において、立科町消防出初式が厳かに挙行されました。

式典では、本年度に更新した消防団旗の授与の他、無火災章や長年消防業務に従事した団員、功労者、退団者への表彰が行われました。式典後には、消防団員・幼年消防隊・川西消防署員総勢205名と消防車両が華やかに行進しました。

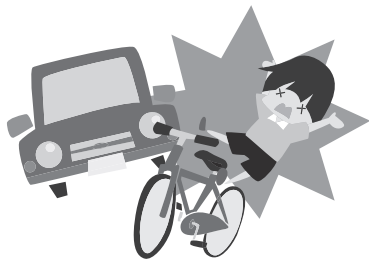
立科町消防団は、本年も住民の生命・身体・財産を守ることを使命として活動します。



庶務係

まさか！のときの安心と安全のために
「東北信交通災害共済」に加入
しましょう

交通安全



共済期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
共済会費	1人 400円 中学生までは200円(年額)
共済見舞金	死亡見舞金 最高160万円

自動車や自転車等の運行中における交通事故(接触、衝突、転落等)によりケガをした場合に対象となり、共済見舞金(基礎見舞金及び入院または通院日数に応じた見舞金)が支払われます。

※入院、通院、基礎見舞金は2日目から対象となります。

2月～3月に各地区の交通安全推進指導員さんを通じ、平成29年度分の加入を推進しますので、詳しくはその際の資料をご覧ください。

万一の交通事故に備え、ご家族全員の加入をお勧めします。

新しい風(町長コラム) ⑮

米村匠人

2017年(平成29年)の新しい年を町民皆様は、いかがお過ごしでしょうか。立科町政も28年度の仕上げの時期を迎え、新しい取組みを行う為の29年度予算編成に取り掛かっております。本年度は、「子育てしやすい町づくり」「定住移住しなくなる町づくり」を重点指針に掲げ、町民の皆さんが幸せを感じ、地域が活気づく施策を進め一定の成果が上がったと確信しております。

来年度に向け、この2つの重点指針に「誰にも優しく健やかに、いつまでも地域で暮らせる町づくり」を新たに加え、新たな時代に対応した福祉施策を進めてまいります。高齢者・障がい者・子どもの誰もが、そのニーズに合った支援が受けられるよう、行政・事業者・地域が一体となって支えることができる「共生社会」の実現に向け取り組んでまいります。立科町に暮らす事に幸せや喜びを感じられる町づくり、愛する立科町を次世代に引き継いでいくためにも、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、町民みんなが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを作りたいと思っています。

早めの花粉症対策

つらい花粉症…

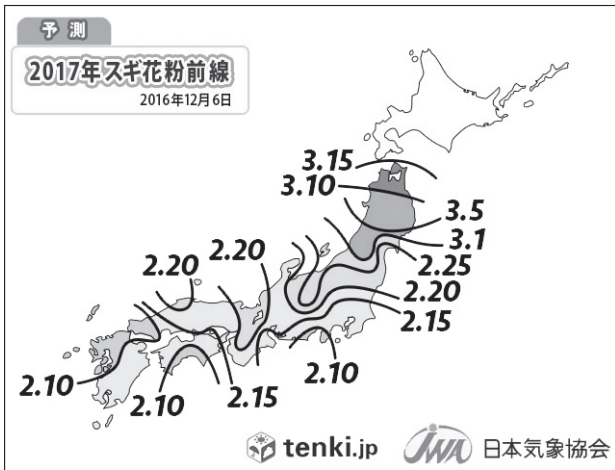
春先によく聞かれる花粉症。花粉症の三大症状は「くしゃみ」「鼻水」「鼻づまり」といって鼻に現れる症状です。また、目に現れる症状としてかゆみ、なみだ目、結膜の充血なども多く見られ、重症になると、食欲減退、悪心などの胃腸症状、頭痛感、全身倦怠感などの全身症状も現れます。

風邪との違いは、花粉症では連続したくしゃみであること、鼻水が水のように無色でさらさらと流れるように出てくること、発熱やのどの痛みがないことなどです。

花粉症になると、毎年花粉の飛散する時期に、決まって同じ症状を繰り返すようになります。また、花粉の飛散量が多いほど症状は重くなると言われていきますので、早めの花粉症対策で快適に過ごしましょう。

春の花粉

春の花粉で多いのが、スギ・ヒノキ。平成28年12月6日に日本気象協会から出された「2017年 春の花粉飛散予測」では、飛散開始時期は例年並みといわれ、2月上旬に九州北部や中国・四国・東海地方の一部から花粉シーズンが始まる予報が出ています。



花粉症対策

まずは症状を出さないよう、花粉の飛散する時期を確認し予防策を。

- 花粉が飛散する前から服薬する
- 花粉症防護グッズはマスクが最も効果的
- 初期療法で改善したら維持療法で治療を継続
- 症状が出てしまったら：
鼻のセルフケア
- 鼻をかみすぎて荒れてしまったらワセリンで保護してあげましょう。鼻が荒れないよう保湿ティッシュを使うのも良いでしょう。
- 症状が出ている時は、鼻の中で炎症が起こって粘膜の機能が低下していることがあります。加湿などにより水分を補ってあげることも大切です。
- 目のセルフケア
- 目がかゆくて我慢できないときは、冷たいタオルで冷やしましょう。かゆみが楽になります。
- 花粉症の時期はコンタクトレンズよりメガネを利用しましょう。



お墓Q&A ◇各種ご質問にお答えしますので、お気軽にお問い合わせください。

- Q. ペットが死んだ場合、お墓はどうしたらいいですか？
- A. ペット専用のお墓や合祀墓を持つ寺院もあります。またペットを家族の一員と考え、お墓のすぐ近くにペットのお墓を作ってあげることもあります。

至和田 長門バイパス 至丸子 至立科

墓石・記念碑・石工事一式
櫻井石材有限会社
長和町古町4459 (長門バイパス沿い)
☎0268-68-3859 FAX0268-68-4444

立科町では、地域経済の活性化を図るため、民間企業等の広告を有料で掲載しています。《お問合せ先：総務課財政係》

もの忘れ相談会を開催します

「最近もの忘れが多くなってきたかな？」「もしかしたら認知症になってきたのかな？」など、年齢を重ねるごとに自分や家族について心配になる機会が多くなっていきます。もの忘れや認知症は、初期の段階での対応がとて重要です。どのように自分や家族と向き合っていくか、日頃不安に思っていることについて一人で悩まずにまずは専門家に相談してみませんか？

今年度最後の「もの忘れ相談会」を下記により開催致します。事前の申込みが必要となりますのでご連絡ください。

- 相談員 NPO法人やじろペー 理事長 中澤純一氏
- 対象者 立科町に在住の方・ご家族
- 日時 2月27日(月) 午後1時30分～3時30分
- 場所 中央公民館 視聴覚室
- 募集人数 2名程度（お一人の相談時間は1時間程度になります）
- 申込期限 2月20日(月)まで
- 申込方法 立科町地域包括支援センター（町民課 高齢者支援係）
電話56-2311 有線2311まで、ご連絡ください。



地域包括支援センター・高齢者支援係

環境保健係



たてしな食育応援団活動中！

食育基本法が制定されてから約10年。皆さんは「食育」という言葉から何を連想するでしょうか？ 食育とは、生きていくうえで欠かせない「食」に関わることすべて、子供から高齢者まですべての年代における健康づくりに関わること、地域の食文化や郷土食の伝承、地産地消の推進から食料自給率の向上、農業体験、食品の安全性に関わることなど多岐にわたっています。

そこで町内の「食」に関する活動や学習に取り組んでいる団体を中心に、昨年「たてしな食育応援団」を結成しました。これは、町の課題・情報を共有し、共通認識のもとで食育を推進していこうというものです。

今年は、佐久保健福祉事務所が中心となって佐久地域で取り組んでいる減塩活動「やぐつとす味みんなでキャンペーン」に基づき、減塩についての学習会を開催し、学校給食でのうす味でもおいしく食べられる秘訣などについて教えていただき、その後意見交換を行いました。

現在この応援団には、JA女性会、農村生活マイスター、女性農業者たてしなっ娘、

消費者の会、食改の5つの団体が所属していますが、現在も加入して下さる団体、個人の方を募集しています。食育に興味のある方は、環境保健係までご連絡ください。一緒に食育を推進していきましょう。



農業者年金に加入しませんか？

農家の窓

●転用許可後の地目変更登記をお忘れなく●

農業者年金は農家のための魅力ある制度です。

《農業者年金加入資格要件は3つだけ》

1. 年間農業従事日数60日以上
2. 国民年金第1号被保険者（保険料納付免除者を除く）
3. 20歳以上60歳未満



《農業者年金の特徴》

●確定拠出型年金

農業者年金は積立方式の確定拠出型年金です。加入者・受給者に影響されない長期的に安定した制度です。

●全額社会保険料控除

納めた保険料は全額社会保険料控除の対象となり、大きな節税効果があります。

●終身年金

年金は生涯受給できます。万が一、80歳前に亡くなった場合でも、80歳到達月までに受け取れるはずだった年金額の現在価値相当額をご遺族に支給されます。

●保険料は月額2万円から6万7千円まで

保険料は経営状況や老後の生活設計に合わせて、千円単位で自由に選択でき、いつでも見直すことができます。

●担い手には保険料の国庫補助

認定農業者で青色申告をしているなどの一定の要件を満たす農業の担い手には、保険料の国庫補助があります。

詳しくは農業委員会へお問合せください。

「そば打ち講習会」受講者募集

そばの普及促進と消費拡大を目的として、町民の方を対象としたそば打ち講習会を実施します。

講習日時

- | | | |
|-----|---------|----------------|
| 第1回 | 3月1日(水) | 午後6時30分から8時30分 |
| 第2回 | 3月8日(水) | 午後6時30分から8時30分 |



場所

立科町交流促進センター「耕福館」

受講料金

2,000円（全2回分）

募集人数

10名（先着順。定員に達し次第締切りとし、過去に受講経験のない方を優先いたします）

募集期間

2月6日(月)～2月13日(月)
受付は、上記期日の平日

応募方法

役場農林課窓口で配布する応募要領をご覧いただき、申込書を農林課窓口に提出してください。（電話での予約は行えません）申込書は、2月1日からHPにも掲載します。

受講資格

- ・立科町に住所を有する方
- ・全2回の講習に出席できる方
- ・そばの普及促進に協力できる方（立科町交流促進センターのそば打ち体験学習補助等）

平成29年産米の生産目標数量については、全国的な米の需要量の減少や在庫量の増加などにより、立科町の生産目標数量は、前年に比べ98.51% 2,316t（換算面積：344ha）となりました。

農家の皆様には3月下旬までに生産数量の目標をお知らせする予定ですので、ご理解、ご協力をお願いします。

なお、平成30年産を目途にいわゆる「減反」の廃止として、国からの生産数量目標の配分、生産数量目標に従った主食用米の作付けへの助成（米の直接支払交付金）は廃止されますが、米の生産調整が不要になったわけではなく、平成30年産以降も国が策定する需給見通し等を踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって需要に応じた生産が行えるように取り組む必要があります。県農業再生協議会でも全国の需要動向を踏まえた「主食用米の生産数量目安値」を提示する予定としています。

平成30年産以降も転作作物への助成（水田活用の直接支払交付金）や、米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）による支援は継続される予定ですので、米の需要に応じた生産が行えるよう、ご理解、ご協力をお願いします。



白樺湖畔1周

遊歩道の名称（愛称）を募集

散策、ウォーキングやランニングにやさしいゴムチップ舗装の遊歩道を、来年度完成を目標に整備しています。

この遊歩道を多くの方に愛され、利用してもらえるよう遊歩道の名称（愛称）を募集します。

高原のイメージ、白樺湖の風景やスポーツのトレーニングを連想するものなどたくさんのご応募お待ちしております。

採用された方には、副賞として白樺湖・女神湖・車山エリア内宿泊補助券（7,000円×2枚）をプレゼントします。

なお、選考結果は「広報たてしな」において発表します。



◆募集締切 2月28日(火) 必着

◆応募方法

名称（愛称）、氏名、電話番号をご記入いただき、E-Mail、Fax又はハガキ等でご応募ください。

◆応募先及びお問合せ先

白樺湖活性化協議会事務局

（立科町役場観光商工課内）

電話 0267-55-6201

Fax 0267-55-6000

E-Mail kankou@town.tateshina.nagano.jp



- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

子育て「十四の提言」

～信頼関係を容易に構築できる子を育むために～

立科町教育相談員 岩上起美男

「大特集 日本再興の鍵は教育にあり」という表紙の大きな活字に誘われて、平成27年「文藝春秋」11月号のページをめくってしまいましたところ、大変興味深い二つの記事に出会いました。

編集者の意図がそこにあつたのかどうかは知る由もありませんが、一つの記事が問題提起で、冒頭の特集記事の引用部がその答えと読み取れたのです。しかも、極めて今日的で、切実な問題提起であり、その答え、すなわち、問題を解決するための基本的な姿勢や方向性にも強い共感を覚えました。

問題提起ではないか、と考えたのは、「地球外生命が見つかる日」という対談記事（東京大学大学院准教授 阿部豊×評論家 立花隆）です。

この対談によりますと、現代は、宇宙科学の進歩によって、「地球外生命なんてあるはずがない」という立場から、「あるのが当然。」という前提になり、「どう見つけるか。」の研究に変わってきているそうです。地球と似たような環境で、地球と同じように、いろいろな出来事がちよどい具合に偶然起こって、現在に至っている惑星が、宇宙のどこかにいくつか存在しているもおかしくないと考えられているのだそうです。

以前はSFの世界の話が今や科学の対象になり、生命が存在する地球以外の星

をどう見つけ出すか、というのですからまさに気宇壮大にして遠大です。

しかしながら、五無齋・保科百助先生（1868-1911）が活躍された明治時代の人々には、全く考えられなかったであろうことが、今日の文明社会では実現しています。——人類の月面着陸、無人探査機の火星着陸、飛行機、高速道路、テレビ、パソコン、スマホ等々。

昔の人に限らず、戦後生まれの「団塊の世代」ですら想像もしなかった電子機器や電化製品、便利なシステムが、今日では当たり前のように普及しています。

お蔭を被り、多大な恩恵に浴している文明の利器が数多くあります。その筆頭がOA（情報）機器で、教職を辞す日間で、鉄筆とロウ原紙、ガリ版、謄写版で、右手の中指に鉄筆だこをこしらえながらプリントづくり……と覚悟していた身にとって、ワープロや印刷機、コピー機の普及は本当に有難いものでした。このような科学技術の日進月歩を目の当たりにしますと、地球外生命が見つかるのも、あながちそう遠い日のことではないような気がします。

地球外生命の存在に思いを巡らすとき、あらためて、この地球こそ、「奇跡の星」であることを実感します。40数億年という途方もなく長い時間と宇宙の無限の広

がりの中で、偶然という必然(?)が際限なく繰り返されたことによって、現在の地球が在るからです。

立花隆氏の語るところによりますと、最大の奇跡は、地球に、水と酸素、大陸など、生命が存在するために必要な条件がととのっていたことです。

さらに、二酸化炭素の量です。二酸化炭素が多過ぎると地球は高温になり、少な過ぎれば地球は凍りついてしまいます。二酸化炭素が適度な量で循環しているからこそ生命が生き続けられるのですが、その循環のシステムも地球にちゃんと備わっているのだそうです。

地球の海水も生命にとって絶妙の量なのだそうです。海水の量は地球全体の質量のわずか0.023%ですが、これが0.23%になると、地球全体が海に覆われ、陸地がなくなってしまうそうです。月の存在も奇跡の一つで、もし月がなかったら、地球の自転軸の傾きはぐらぐらしてしまうため、気温60度に達する場所があり、大きな環境変動に襲われることが分かっているそうです。

巨大な木星が、地球にとって絶好の位置にあつたことも、ものすごくラッキーだったそうです。もしも木星の引力がなかったら、地球に無数の彗星が激突し、地球上の生命は絶滅していたかも知れないのだそうです。

おそらく、地球の起源や太陽との距離関係など、まだ解明されていないのもっとも多く、地球が存在しているのでしょうか。

このような「奇跡の星・地球」に、人間が今現在こうして生活しているのは、実に不思議なことです。

では、この「奇跡の星・地球」で人間がやっていることは一体何か……。これが、お二人の対談の言外にある警鐘のメッセージであり、問題提起と感じたのです。

その答えの一つは、地球に備わっている生命が存在するための条件を、近年、人間が破壊しつつあることでしょうか。

そして、もう一つの答えが、「文藝春秋」同月号の対談記事「大特集 新・教育論」（作家・元外務省主任分析官 佐藤勝×ジャーナリスト 池上彰）の次の引用ではないか、と思われたのです。

「人間は愛と正義の名の下に繰り返しの戦争をし続ける生物で、二〇世紀の百年間に、戦争、内戦、虐殺、粛清、民族浄化などで人間が殺した人間の数は一億人を下らない。宇宙人の目から見ると、人間にどんな言い分があろうと、冷静に見てこれは驚くほど危険な生物であると結論せざるを得ない。」（吉村萬吉作「虚ろまんていっく」のあとがきより）

この引用を基にした佐藤勝氏の、「人間の殺人傾向や破壊傾向を抑えるためには、教育によって、『信頼の醸成』の重要性を教える必要がある。信頼関係の構築を容易にできる人は、殺人や破壊などの行為に走らない。」という主旨の発言に心から賛意を覚えました。「奇跡の星・地球」を壊さないために、そして、宇宙人（地球外生命？）から、互いに殺し合う危険な生物と敵対されることなく、地球上で人類が共存共栄するために、教育（この教育とは、むろん学校教育だけを指すものではありません。）によって、子どもたちが相互に信頼し、信頼される人間関係を築き合えるようになることが大切である、と説いているからです。

そこで、子どもたちが信頼関係を容易に構築する力を育むために、子育て「十四の提言」を申し上げたいと存じます。

この「十四の提言」は、今までも折々にご紹介申し上げましたが、「聴き心」と「直き心」を有する先人先輩の方々から学んだ教訓、そして、敬愛して止まない、誠実で心優しい親御さんの子育ての極意の如き体験を、偶々教育相談員が書き留めた子育ての英知であり、子どもの「心の育ち」の土台となる「情緒の安定」を育むために不可欠な親御さんの養育姿勢かと存じます。

- ① 親とは、子育てという大変な営みを通して、親として、一人の人間として、さらに成長し続ける大人である。
- ② 自分の親が、子どもであった自分にしてくれたことやしてくれなかったこと、してほしかったこと、してほしくなかったことなど、そのすべてから学ぶことが、親としての自分の子育ての拠り所である。
- ③ 成長とは、誰もが生来持っている「良さ」を失うことなく、より賢く、より健やかな心身を育むことである。
- ④ 子育て上の問題及び課題、悩みの答えは、ほとんど自分自身の中にあるので、すぐ他者に原因や責任を求めず、まず親としての自分の養育と生き方を謙虚に問う。
- ⑤ 子育てのパートナーである教師や保育士、厚生員（児童館）との信頼に基づいた連携を図る。
- ⑥ 衣食住や睡眠、安全、安定、愛情、集団所属、承認など、我が子の「人間としての基本的な欲求」の充足に努めることによって、明日への活力を生む家庭を築く。
- ⑦ 子育て及び教育の原点は、「聴き心」と「直き心」にあると心得、我が子の話に親身に耳を傾ける。
- ⑧ 子どもを温かく見詰め、日常的な変容（成長）を細やかに把握して、頑張ったときは褒め、生命や人権、安全、犯罪、暴力につながる、人間として絶対に許せない言動や態度については、親としての切なる思いを込めて全身全霊で叱る。
- ⑨ 先回りの指示は、子どものやる気と主体性を奪うので、我が子を信頼して、任せるべきことは任せる。特に、「朝、自分で起きること」は、自立の第一歩と肝に銘ずる。
- ⑩ 情報化された現代は、子育ての難しい時代であると受け止める。
- ⑪ 相反する様々な「子育て情報」が氾濫する情報化社会であるが、かけがえない無二の存在である我が子の健やかな成長を誰よりも強く願う親としての自分が、その時その場で抱く我が子への思いこそ、最も信頼できる「子育て情報」である。
- ⑫ 我が子の、テレビやパソコン、スマホ、ゲームなどの電子映像メディアへの接触時間を一日2時間以内にとコントロールし、読書や会話、手伝い、家族の団欒、運動、野外の遊びを大切にす。
- ⑬ 学力偏重を避け、「知・徳・体」調和のとれた子育てを実践する。
- ⑭ 親としての自分が、日々、誠実に生きる。

新着図書

「みかづき」

森 絵都 (著) 集英社 (出版)

昭和36年。小学校用務員の吾郎は、勉強を教えていた児童の母親・千明に誘われ学習塾を立て上げる。千明と結婚し、家族になった吾郎。塾も順調に成長するが、予期せぬ波瀾が2人を襲い…。山あり谷あり涙あり。昭和～平成の塾業界を舞台に、奮闘を続ける家族の感動物語。

「坊ちゃんのそれから」

芳川 泰久 (著) 河出書房 (出版)

松山で大暴れして教師を辞め、東京に帰った坊ちゃんは、それから、街鉄の運転手になった。山嵐は、幸徳秋水に出会い、大逆事件に巻き込まれ…。激動の明治を駆け抜けるふたりの「それから」を描く大ロマン、続『坊ちゃん』。

「えんとつ町のプペル」

にしの あきひろ (著) 幻冬舎 (出版)

えんとつそうじ屋の少年ルビッチは、ハロウィンの日にあらわれたゴミ人間のプペルと出会い、友達になるが…。絵画のような挿絵と感動のラスト。おとな向け絵本。

「これはすいへいせん」

谷川 俊太郎 (ぶん) tupera tupera (え) 金の星社 (出版)

これは水平線の向こうから流れてきた家。これは水平線の向こうから流れてきた家で昼寝をしていたおじいさんのガブリエル…。言葉がつながる、谷川俊太郎×tupera tuperaのコラボ絵本。

立科町公民館 (教育委員会 社会教育人権政策係) 有線 4000



蔵書点検による 臨時休室のお知らせ

2月28日(火)～
3月2日(木)

ご迷惑をおかけしますが、
ご理解、ご協力をお願いいたします。

お知らせ

「ちゅうりっぷの会」による

乳幼児のためのおはなし会

日時 2月22日(水) 午前10時30分～

場所 中央公民館 視聴覚室

対象 0歳児～

大型絵本・パネルシアターなど

親子でお楽しみください!

図書館利用案内

開室時間

- 月曜日～土曜日 午前9時30分～午後6時
(土曜日は午後5時)
- 日曜日・祭日 午後1時～午後5時
- *お一人 5冊まで 2週間借りられます

新 人権擁護委員に川合登巳雄さん



1月1日付で牛鹿の川合登巳雄さんが人権擁護委員として法務大臣より委嘱されました。

人権擁護委員は、憲法で保障されている国民の基本的な人権(生命、自由及び幸福追求等の権利)が侵犯されることのないように監視し、もしこれが侵犯された場合には、その救済のため速やかに適切な措置をとるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めることを使命とし、自由人権思想に関する啓発宣伝や人権擁護運動に取り組み、人権侵犯事件があった場合には、その救済のために調査及び情報の収集を行い、長野地方法務局への報告、あるいは関係機関に対しての告発・勧告を行う等、幅広く人権の擁護に努めています。

また、心配ごとやいじめ等の相談にも応じていただきます。

～地域と共にある学校づくりを目指して～

立科町小中学校コミュニティスクールが始まります

平成29年度より立科町の小中学校で、コミュニティスクールが始まります。

コミュニティスクールとは、学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供たちの成長を支えながら学校づくりを進めていく仕組みです。現在は地域のつながりや支え合いの希薄化による地域社会の教育力の低下や、家庭教育を充実する必要性が指摘されております。また、子供たちには道徳や社会ルールなどに対する課題に加え、学校現場では複雑困難な問題を抱えております。

このようなことから文部科学省では平成16年にこの制度を導入し、その後中央教育審議会により具体的な審議が加えられ平成27年4月には全国の小中学校等合わせて2,389校が指定校となり取り組んでおります。

国が進めているコミュニティスクールは、予算や人事等についての意見等の権限を法律で裏付けているものですが、長野県教育委員会で進めている「信州型コミュニティスクール」は地域の支援を学校教育に積極的に導入し、児童、生徒の「生きる力」を学校、家庭、地域が一体となって育成しようとするもので、立科町ではこの「信州型コミュニティスクール」を実施していくこととしました。

それでは、立科小中学校ではこの制度をどのように進めていくかですが、現在立科町ではすべての子どもに「生きるちから」をつける「立科教育」に取り組んでいます。この立科教育では様々な手法により保育園・小学校・中学校・高等学校が連携し、

- 人権を尊重し、思いやりと規範意識を持ち、社会に貢献できる人間
- 自ら学び行動し、豊かな創造力と個性でたくましく生きる人間

を目指し諸事業に取り組んでおりますが、このコミュニティスクールの導入によりさらに地域の皆さんが学校と関わる事が出来、学校と地域が連携して子供を育てていくことが期待できます。

具体的な取り組みにつきましては、「運営協議会」を設置し学校と地域がどのように連携していけるかを協議し、学校支援ボランティアにより様々な支援を行っていただきます。すでに本年度から町内読み聞かせグループによる支援や、写真クラブの校内展示などの取り組みを試みております。

この制度が始まりますと、町民の皆さんに様々なボランティアに加わっていただき、地域住民や保護者が力を合わせて学校運営に関わっていくことが期待できます。立科町の子ども達の成長を支えるボランティアとして協力いただける皆さん、お気軽に教育委員会子育て教育係まで連絡ください。お待ちしております。



第43回

教育委員会

芸能グループ発表会

町内で合唱、民謡、舞踊、楽器演奏などの活動をされているグループの皆さんが、日頃の活動成果を披露いたします。この機会に、是非ご覧ください。

- 開催日時 3月5日(日)
午後0時15分から4時まで
- 開催場所 老人福祉センター 集会室

ずくです!!

地域おこし協力隊

“奔走中”

● 協力隊の農業振興担当、中島貴宏です

リンゴの木の剪定を行っております。剪定は樹形を整理し作業の効率化や栄養素循環を左右する、重要な作業です。数年先を見据えて実施し、「千本こなして一人前」と呼ばれる作業ですから「毎日勉強あるのみ」です。

また、2月18日に今年度4回目当たる就農者相談会を首都圏で実施します。昨年は立科町で農業体験も実施し、相談会から体験会へ7名の方が参加されました。今年度は昨年以上に立科町の農業を多くの方に知ってもらうよう奮闘します。

● 協力隊の移住・定住促進担当、浜野みゆきです

今回の写真はプロモーションビデオの撮影場所の一つ、りんご農園です。たくさんの実をつけて細い枝をしならせる姿が健気に思えて感動しました。6月から打合せを重ね、素晴らしい作品の完成に着実に近づいているという嬉しい手ごたえを感じています。また、町内のシナプロジェクト（簡単な動きで脳が喜び笑顔が生まれる）講師の田中さんをお願いして1月18日から権現の湯でシナプロジェクトの講座を開催しています。体操の後は皆さんと一緒に大広間でのおしゃべりをお楽しみください。どなたでも参加できますので、ご家族、ご友人をお誘いのうえご参加ください。また、移住コンシェルジュ養成講座や地域支援づくり推進会議等にも参加させていただきました。引き続き、皆さんと意見交換しながら地域の方、移住者、老若男女がつながり安心して楽しく暮らせる町づくりを目指し活動していきます。



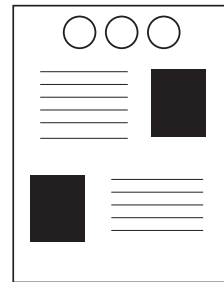
※平成29年度も地域おこし協力隊（2名程度）を募集します。詳しくは町ホームページをご覧ください。

「総合的な学習の時間発表展」開催

教育委員会

立科小学校・中学校の児童生徒の皆さんが、生活科や総合的な学習の時間等の中で、1年間取り組んだ学習成果の発表展示会を下記のとおり開催します。地域の皆さんに、児童生徒の皆さんの日頃の活動を知っていただく良い機会になると思いますので、大勢の方々のご来場をお待ちしております。

- 展示期間 2月25日(土)～2月26日(日)
午前10時～午後8時
- 会場 立科町中央公民館 2階大会議室



「空き家バンク」

空き家の有効活用をしませんか！

企画振興係

ここ最近田舎暮らしが注目されています。町では田舎暮らしを希望する方へ住まい情報を提供するために、空き家を有効活用できる「空き家バンク」を設置し情報を募集しています。空き家を「売りたい」・「貸したい」方々からの情報をお待ちしております。まずはお気軽にお問合せください。

お問合せ先 企画課 企画振興係 電話 56-2311 有線 2311



町臨時職員の登録者を募集します

庶務係

町では、平成29年度町臨時職員の登録者を募集します。

平成29年4月以降臨時職員等に欠員が生じた場合は、原則として登録者の中から採用します。

- 募集期間 平成29年2月3日(金)～2月28日(火)
- 職 種 一般事務、保健師、保育士、給食調理員、温泉館業務、
一般廃棄物収集業務、索道業務
- 採用期間 6か月（6か月经過後、再雇用する場合があります）
- 勤務時間 1日 7時間45分またはパート勤務
※ 勤務場所により時間帯等は異なります。
- 勤務場所 役場及び関連施設（権現の湯等）
- 応募資格 ・住所要件（資格職については適用外の場合もあります）
採用時町内に居住している方
・年齢要件
平成29年4月1日現在で59歳までの方
※ 保健師、保育士については、免許・資格を有している方
- 登録有効期間 平成30年3月31日まで
- 申込方法 総務課庶務係へ登録申込書により、申込みください。
申込書は窓口（総務課庶務係）で受け取るか、町ホームページからダウンロードしてください。
- 選考方法 登録された方の中から書類選考、面接により決定します。
- お問合せ先 総務課庶務係（電話 56-2311 有線 2311）



あなたの勇気で
助かる命があります

献血のお知らせ

病気やけがで血液を必要としている方がいます。また、冬は血液の不足する時季でもあります。

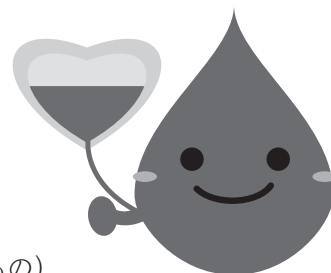
献血にかかる時間は、受付から採血後の休憩まで約40分。そのわずかな時間によって、大切な命を救うことができます。

輸血医療を支える重要な世代であります10代（16歳以上）、20代の方をはじめ69歳の方（60歳以降に献血された経験がある方に限ります。）まで、健康な方であれば献血ができます。

皆様のご協力をお願い致します。

- 月 日 2月17日(金)
- 受付時間 午後1時30分～3時30分
- 受付会場 立科町老人福祉センター 集会室
- 持ち物 献血カード又は献血手帳
(無い方は、運転免許証や健康保険証など本人確認のできるもの)

※ 薬を飲まれている方は、薬の確認をさせていただくことがあります。



庶務係 立科温泉「権現の湯」の支配人を募集します

町では、平成10年に立科温泉「権現の湯」を開館し、眺望の良さなどから年間約20万人の来館者がいらっしやいます。施設の運営管理と、リニューアル計画に向けて取組んでいただける意欲のある方を募集します。

募集内容

- ① 支配人・・・1名（立科町任期付職員
温泉係係長職）
- ② 営業・接客サービス業等の経験（概ね5年以上）があり、管理職として経験がある方（ポイラー設備に知識があればなお良い。）
- ③ 採用時概ね30歳以上65歳以下、性別は問いません。

職務内容

- ① 権現の湯の施設管理・運営に関する全ての業務
- ② 営業、広報の施策立案及びマーケティング
- ③ 施設のリニューアルに向けての企画
- ④ その他温泉館の運営に必要な業務

応募条件

- ① マネージメントの経験がある方
- ② 心身共に健康で職務に熱意のある方
- ③ 高卒以上又は同程度の学力を有する方

④ パソコン（ワード・エクセル等）の基本的な操作ができる方

⑤ 普通運転免許資格のある方

⑥ 通勤可能な方（立科町に住所を有する又は住所を有する予定の方）

⑦ 地方税に滞納のない方

⑧ 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当のない方

⑨ 日本国籍を有する方

雇用期間

平成29年4月1日から平成31年3月31日まで（勤務状況に応じ期間を更新することがあります。）

応募期限

平成29年2月20日(月)までに、応募書類を役場へ持参または郵送してください。

※郵送の場合は2月17日までの消印のあるものに限り受け付けます。

（応募書類・選考方法・給与等については町HPをご覧ください。）

お申込み、お問合せ先

総務課庶務係または企画課
（電話56-2311 有線2311）

山林の管理をお願いします

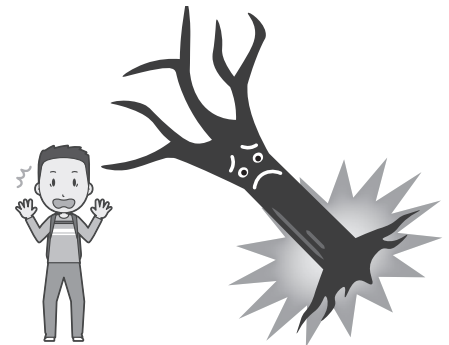
農林係

松くい虫被害等による枯損木は、強風や積雪に耐えられず倒木してしまう恐れがあり、大変危険です。特に道路への倒木は、通行の支障となるだけでなく、場合によっては歩行者や通行車両を巻き込む事故につながる恐れがあります。

また、倒木したことにより被害が発生した場合は、山林等所有者が賠償責任を問われる場合があります。

倒木等被害を及ぼす恐れのある枯損木については、山林等所有者において適切な処理をしていただきますよう御協力をお願いします。

なお、町では枯損木の伐採に対する補助制度がありますので、ご活用ください。詳細については、農林課までお問合せください。



まきストーブ本体の購入助成及びまき材の提供について

町では、まきストーブ本体購入に対する補助制度がありますので、ご活用ください。

また、町では、町有林内の森林整備（間伐）を実施した際に不用となった材を無償にて提供しますので、ご希望の方は農林課において、申請手続きをお願いします。

お知らせ

INFORMATION

平成29年度 長野県シニア
大学 佐久学部学生募集

入学資格

概ね60歳以上の県内在住者で学習意欲が旺盛であり、積極的に地域活動を目指す方（なお、過去（平成26年度以前）に長野県シニア大学を卒業された方も入学できます。）

募集人員 佐久学部 140人

学習期間 2年間

学習時間 68時間/年

(年間17日×4時間/日)

学習内容

地域活動を行うための幅広い分野の学習・実践を行います。

- (1) 教養講座(知識や教養を身につける講座)
- (2) 技能講座(趣味や健康づくりの講座)
- (3) 実践講座(社会参加活動を実践する講座)

授業料

年額 10,000円(授業料の改定があったときは、改定後の授業料となります。)

このほかに、教材費や自治会費等の費

用が必要です。

募集期間

平成29年2月1日(水)～2月28日(水)
(郵送の場合2月28日の消印有効)

募集案内・入学願書

公益財団法人長野県長寿社会開発センター 佐久支部(佐久合同庁舎)・立科町役場町民課高齢者支援係にあります。
申込先

公益財団法人長野県長寿社会開発セン

ター 佐久支部、または立科町役場町民課
高齢者支援係

入学決定

3月下旬に佐久学部から通知します

お問合せ先

公益財団法人長野県長寿社会開発センター 佐久支部(長野県佐久保険福祉事務所福祉課内)

〒385-8533 佐久市跡部65-1

電話 0267-63-3141

FAX 0267-63-3110

URL <https://www.pret.nagano.lg.jp/sakuho/>

INFORMATION

自動車の登録・検査手続き
はお早めに

毎年、3月下旬は自動車の検査・登録申請が多く、窓口が大変込み合います。

車検の手続きは、1か月前から受検できますので、なるべく2月中旬に、廃車・名義変更等の手続きは、3月中旬までに申請されるようお願いいたします。

お問合せ先

長野運輸支局

登録 電話 050-5540-2042
検査 電話 026-243-5525

INFORMATION

お子さまの教育資金を
「国の教育ローン」(日本政策
金融公庫)がサポート!

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。
融資額

お子さま1人当たり350万円以内

金利 年1・81% 固定金利

※母子家庭、父子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は1・41%(平成28年11月10日現在)

返済期間 15年以内

(交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は18年以内)

使いみち

入学金、授業料、教科書代、アパー

ト・マンションの敷金・家賃など
返済方法

毎月元利均等返済(ボーナス時増額返済も可能)

保証

(公財)教育資金融資保証基金(連帯保証人による保証も可能)

HP 「国の教育ローン」で検索

お問合せ先

教育ローンコールセンター

0570-008656(ナビダイヤル)
または03-5321-8656

INFORMATION

ながの創業サポートオフィス

「ながの創業サポートオフィス」では創業を目指す方を創業前から創業後まで一貫してサポートします。事業計画の策定や、商品の試作・マーケティングなど、創業に関する相談を幅広く受け付けています。相談は無料、秘密厳守ですので、お気軽にご利用ください。

お問合せ先

電話 026-269-7359

受付時間は平日の午前8時30分から午後5時15分まで。

2月・3月 行事予定
立科町児童館 こども未来館情報
皆様のご来館をおまちしています

※都合により内容等が変更となる場合がありますので、ご承知おきください。
詳しくは毎月発行しております、「なかよし広場だより」(未就学児向け)「こども未来館だより」(小学生向け)をご覧ください。

なかよし広場

- ★対象：就園前のお子さんと保護者 ★時間：午前10時30分～
★日程及び内容
- | | |
|----------------|--------------------------|
| 2月 2日(木) たまご広場 | 3月 1日(水) ママのリラックス広場(要予約) |
| 3日(金) ちびっこ広場 | 2日(木) たまご広場 |
| 13日(月) 子育て講話 | 3日(金) ちびっこ広場 |
| 16日(木) 親子運動遊び | 9日(木) 親子運動遊び |
| 24日(金) ちびっこ広場 | 10日(金) ちびっこ広場 |

文化伝承教室

- 対象及び時間：小学生 午後3時30分～
【囲碁】★日程：2月 2日(木)・16日(木)
3月 2日(木)・16日(木)
(午後2時～)
【将棋】★日程：2月 9日(木)・23日(木)
3月 9日(木)・23日(木)
(午後2時～)

わくわく教室

- ★対象及び時間：小学生 午後3時30分～
★日程及び内容：2月 6日(月) ぶんぶんゴマ作ろう
13日(月) お手玉遊びをしよう
20日(月) 折り紙で遊ぼう
27日(月) おひな様を作ろう
3月 6日(月) 自由に絵を描こう
13日(月) ブローチを作ろう
27日(月) ペン立てを作ろう(午後1時30分～)

カット&タイ教室

- ★対象及び時間：小学生 午後3時30分～
★日程：2月24日(金)

ビーズ教室(要予約)

- ★対象及び時間：小学生 午前10時～
★日程及び内容：2月 4日(土)
ヘアゴムを作りましょう

学習・スポーツ教室

- ★対象及び場所と時間：
小学生(登録児童のみ) 立科小学校 午後3時～5時
★日程：2月 1日(水)・8日(水)・22日(水)
3月 1日(水)・8日(水)
★内容：学習アドバイザーの先生方に、宿題や、予習・復習等を教えていただきます。
スポーツ教室は、学年の枠を越え、思いやりをもって、みんなで仲良く楽しみましょう。

エコ教室

- ★対象及び時間：小学生 午後1時30分～
★日程及び内容：3月21日(火)・24日(金)
未定

レクリエーション教室

- ★対象及び時間：小学生 午後1時30分～
★日程及び内容：3月22日(水) 春を探しに出かけましょう

アートチャレンジ教室

- ★対象及び時間：小学生 午後1時30分～
★日程及び内容：3月29日(水) 未定

なかよし広場



子育て講話

放課後子ども教室



将棋教室

児童館
事業の
様子



白樺高原 便り

白樺高原総合
観光センター

冬山はトップシーズンとなりました。
スキー場イベント盛り沢山。皆様のご来場お待ちしております。



お得情報

町民優待サービス

区分	平日	土・日・祝日	備考
中学生以下	無料	800円	通常2,570円
高校生 (要・学生証)	1,200円	1,200円	通常3,900円
大人 (要・住所証明)	2,500円	2,500円	通常3,900円

イベント情報

バレンタインデーサービス 2月14日(火)

■両スキー場
リフト1日券20%OFF・粗品プレゼント

お楽しみダーツ大会 2月19日(日)

■しらかば2in1スキー場
リフト1日券購入者先着300名様に地元特産品などがダーツで当たる

雪の日!シーズン券プレゼント 2月25・26日

25日 しらかば2in1スキー場40周年記念大抽選会
26日 白樺高原国際スキー場50周年記念大抽選会
さらに当日リフト1日券購入で配布される応募券をスキー場にある応募箱に投函すると抽選で来シーズンの共通シーズン券が当たる

メンズデー

毎月第1、第3木曜日
男性のリフト1日券1,000円

レディースデー

毎週水曜日 女性のリフト1日券1,000円

スキーこどもの日

毎月第3日曜日 小学生以下のリフト1日券無料

リフト券の割引については、他の割引券との併用はできません。団体は対象外となります。

お問合せ先 立科町観光商工課 電話 55-6201

「ゆるキャラ集合」キッズ祭

日時 2月5日(日) 午前11時から12時30分まで
場所 白樺高原国際スキー場
主な内容 かわいい「ゆるキャラ」との撮影会や雪遊び
ホットリングジュースや焼きマシュマロのふるまいもあります。
出演予定 しいなちゃん(立科町マスコットキャラクター)
みよたん(御代田町)、こもろん(小諸市)
アルクマ(長野県観光PRキャラクター) 他

*キッズファンタジーワールドでは、キッズウェイを利用してそり遊び(有料)等が楽しめますのでご利用ください。



白樺高原キャンドルナイト

日時 2月11日(土)
場所 蓼科園地(野外音楽堂周辺)
内容 高原の静かな夜にすてきな思い出を

第20回 KID'Sスキー大会

日時 3月12日(日)
場所 白樺高原国際スキー場
競技種目 ソフトポールを使ったタイムレース
当日は、ぞうさん、うさぎさんなどぬいぐるみの応援があります!
参加資格 小学生未満(未就学)のちびっこスキー愛好者 必ず保護者同伴のこと
参加定員 50名様まで(先着順にて当日受付定員になり次第締め切ります。)
参加料 無料
表彰 3位まで もれなくお楽しみ参加賞

ふれあいふるまいサービス

日時 3月19日(日) 正午より
場所 白樺高原国際スキー場
内容 あたたかいすいとんのサービス

お問合せ先 (一社) 蓼科白樺高原観光協会 電話 55-6654

たてしな保育園の 子どもたち



あひる組…発表会でにんじん、玉ねぎ、じゃがいも、ぶた肉になっておいしいカレーライスを作りました。



ひよこ組…先生やお友だちと一緒に、手遊びや歌遊びをしました。上手に座れるようにもなりました。



年少組



運動会や発表会：クラスのお友だちと一緒にたくさんがんばってききました。帰りの準備も、おやつを用意も自分でできるようにになりました♡



年中組

発表会、「サンタクロースがやってきた!」「ブレーメンのおんがくたい」ドキドキしたけど、みんな上手にできました。大成功!!



年長組

民生委員さんとカレー作りを行いました。野菜の皮をむいたり、切ったり…玉ねぎは目にしみたけれど頑張ったね!自分たちで作ったカレーの味は格別でした。



公開保育紹介



保育園では未就園児のお子さんを対象に、毎月公開保育を開き、園の様子を見学して頂いたり、園児と一緒に遊んだりして園の生活を知ってもらえる日にしています。12月は園で取り組んでいる運動遊びを体験してもらいました。

お子さんとお母さんも一緒に体を動かして汗をかき、笑顔もたくさん見られました。

公開保育は毎月予定し、広報でお知らせしますので、是非お出掛けください。



すてきな贈り物



12月15日(休) 匿名の方からたてしな保育園にクリスマスプレゼントが届きました。開けてみると、子どもたちが喜びそうな沢山の絵本。匿名の方のご厚意に感謝します。



立科町の輝くニュース **フラッシュNEWS**

たてしなの里 権現の湯 入館者400万人達成

平成10年4月の開館以来、本年で19年目を迎えた「権現の湯」は、1月7日(土)に累計入館者が400万人に達しました。

これはひとえに町民の皆様はもとより多くの皆様のご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

記念すべき400万人目の入館者は、東京都から来館された方でした。その方と前後に来館されたお二人に米村町長から記念品が贈られました。これからも皆様に愛され、さらなる憩いと癒しの空間を提供できるよう、当館の運営を行ってまいります。今後とも「権現の湯」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



平成29年 立科町新春賀詞交歓会

平成29年立科町新春賀詞交歓会

1月6日(金)に立科町老人福祉センターにおいて、新春賀詞交歓会を開催しました。

各種団体等の代表者あいさつに続き、昨年活躍された方々を紹介する「時の人」では、長年の交通安全の取組みが、長野県交通安全運動推進本部（本部長 長野県知事）から交通安全功労団体として表彰された立科金属株式会社、「企業的な果樹経営」の取組みが、地域農業の牽引役となったとして長野県知事から園芸特産業関係功労賞を受賞した農事組合法人 十八塚りんご生産共同組合、生産した「蜜入りサンふじ」と「サンふじ100%すりおろし林檎ジュース」の伊勢神宮外宮への奉納が許されたアップルアートの中谷嘉信さん（外倉）をご紹介します。

また、本年1月は、推理小説作家で、名誉町民第1号でもある土屋隆夫先生の生誕100年にあたります。土屋先生は、大正6（1917）年1月に当時の芦田村にお生まれになり、立科町芦田の自宅を拠点に多くの推理小説を執筆し、地方在住作家の元祖的存在としてご活躍され、第5回日本ミステリー大賞を受賞し、全国的に多くのファンをお持ちでした。

その土屋先生の生誕100年のご紹介として、会場内に作品展を設け、ご遺族の土屋哲夫さんにあいさつをいただきました。



第62回 愛川町一周駅伝競走大会



平成29年1月8日(日)に、毎年恒例となっています、愛川町一周駅伝競走大会が友好都市である神奈川県愛川町にて開催され、立科町からは2チームが出場しました。（7区間・全長26,840m）

冬空の肌寒い天候ではありましたが、両チームとも快走し素晴らしい成績を残しました。また中学生3名が区間賞を受賞する素晴らしい結果でした。

結果は次のとおりです。

チーム	タイム	順位
立科町A	1時間34分36秒	優勝
立科町B	1時間44分09秒	3位

わら細工・お手玉づくりを楽しむ会が開催されました！

12月10日(土) 師走の恒例行事「わら細工・お手玉づくりを楽しむ会」が今年も開催されました。老人クラブ連合会のご協力をいただき、お正月に向けてお飾りのしめ縄づくりやお手玉づくりを教えていただきました。

25名の参加者があり、伝統文化の継承とともに、世代を超えた交流の場として会場は大変賑やかでした。



青少年スキー教室



平成29年1月4日(水)・5日(木)・6日(金)の三日間、白樺高原国際スキー場において、町内の小学3年生～中学3年生を対象に青少年スキー教室を開催しました。

43名の参加生徒の皆さんは、快晴のスキー場で元気いっぱいスキーを楽しみました。

白樺高原スキースクールのインストラクターの皆さんに丁寧に指導していただき、スキーの技術が上達しました。

「広報たてしな」に **広告** を出しませんか？

立科町では、地域経済の活性化を図るため、民間企業等の広告を有料で掲載していますので、是非ご活用ください。

この枠(4分の1ページ)に5,000円/1回で掲載ができます。

お問合せ先 **総務課財政係まで**

2月町民カレンダー

行事予定		保 健
1	水	ダイエット教室 2回目
4	土	第51回囲碁将棋大会 たてしな保育園 一日体験入園
5	日	ゆるキャラ集合！キッズ祭 (国際スキー場)
7	火	赤ちゃん相談室 (2ヶ月の会 H28.11月生)
8	水	ダイエット教室 3回目
10	金	幼児健診 1歳6ヵ月児健診 H27.7月～8月生 3歳児健診 H25.11月～12月生
11	土	保育園児作品展 (～12日)
12	日	冬季スポーツ大会
14	火	心と命を守る研修会 1回目
16	木	所得税確定申告・住民税申告期間 (～3月15日)
17	金	ダイエット教室 4回目、献血
25	土	総合的な学習の時間発表展 (～26日) 2 in 1 スキー場 40周年大抽選会
26	日	国際スキー場 50周年大抽選会
27	月	たのきん教室

2月の納税

- 介護保険料：普通徴収 (第11期)
- 後期高齢者医療保険料 (第8期)

各種相談日

● 結婚情報センター相談会

2月8日(水)
午後1時30分～3時30分
場所：老人福祉センター 機能訓練室
◎ 立科町社会福祉協議会
電話56-1825

● 無料法律相談

2月17日(金)
午後1時30分～4時30分
場所：老人福祉センター
相談員：土屋文男弁護士
浦野喜芳心配ごと相談員
◎ 立科町社会福祉協議会
電話56-1825

連絡先

立科町役場 電話 56-2311 有線 2311
FAX 56-2310

	電話	有線
白樺高原総合観光センター	55-6201	
中央公民館 (事務室)	56-2311	4000
たてしな保育園	56-0022	2100
こども未来館 (児童館)	56-0248	8888
老人福祉センター	56-1825	4091
立科温泉 権現の湯	56-0606	4126

町のデータ12月 12月1日～12月31日の状況

人口 1月1日現在 (12月31日届出まで) ()内は前月比

人口	7,429 (+ 3)	出生	2
男	3,674 (+ 2)	死亡	4
女	3,755 (+ 1)	転入	15
世帯数	2,843 (+ 3)	転出	10

気象

		今年	最近10年間の平均
気温	平均	1.7℃	1.1℃
	最高極日	15.4℃/22日	14.2℃/10年
	最低極日	-9.0℃/31日	-10.6℃/10年
降水量		54.0mm	33.7mm
降水量(1～12月)		1273.0mm	1066.3mm
日照時間		163.7時間	161.1時間

救急

	火災		救急	
	発生件数	年間累計	発生件数	年間累計
交通事故	3	38	建物火災	0 1
その他	33	414	その他	0 5
合計	36	452	合計	0 6

休日緊急当番医

● 午前9時～午後5時
(歯科 午前9時～正午)

5	日	小諸病院	小諸市	0267-22-0250
		うすだ医院	小諸市	0267-22-0483
		軽井沢病院	軽井沢町	0267-45-5111
		みまき温泉診療所	東御市北御牧	0268-61-6002
		松井歯科医院	佐久市望月	0267-53-8241
11	土	矢島医院	小諸市	0267-22-8148
		桜井クリニック	小諸市	0267-26-1188
		軽井沢病院	軽井沢町	0267-45-5111
		田中歯科医院	佐久市望月	0267-53-4682
12	日	高橋内科医院	小諸市	0267-23-8110
		佐藤外科医院	小諸市	0267-22-0334
		休日夜間軽井沢診療所	軽井沢町	0267-31-5057
		中島医院	東御市北御牧	0268-67-2777
		岡田歯科医院	小諸市	0267-25-4182
19	日	小諸厚生総合病院	小諸市	0267-22-1070
		軽井沢病院	軽井沢町	0267-45-5111
		岩下医院	立科町	0267-56-3908
		土屋歯科医院	軽井沢町	0267-45-4512
26	日	由井医院	小諸市	0267-22-0327
		田村医院	小諸市	0267-22-0048
		休日夜間軽井沢診療所	軽井沢町	0267-31-5057
		小林歯科医院	小諸市	0267-25-3708

緊急当番医については、予告なく変更される場合がありますので、有線放送、新聞又は当番医に直接確認の上、受診してください。休日・夜間における医療機関等の情報提供 **ナビダイヤル 0570-08-8199**

